

なめがたをあるく



子どもたちが奏でる太鼓の響き 〜北浦童太鼓〜



お客さんコイまつり～霞ヶ浦ふれあいランド～



創作太鼓練習風景



吉田尚平さん

北浦庁舎分庁舎に、毎週土曜日、大きな太鼓の音色が響き渡ります。北浦童太鼓の皆さんで、下は3歳から、上は高校3年生までの総勢20名の子どもたちが創作太鼓に取り組んでいます。創作太鼓とは、伝統芸能の和太鼓に現代的要素を取り入れたもので、曲目の合間にフリも披露されます。

北浦童太鼓は、平成9年に発足し、これまでも、市内外を問わず、多くの慰問やイベントに参加し、その回数は、1年間に約30回にも及びます。その代表を務める吉田秀邦さんは「現在、新曲に取り組んでいます。子どもたちは、すぐにマスターしました。この会に入会すると、太鼓の演奏を覚えるだけではなく、社会に出たとき、リーダーシップをとれる存在になります。創作太鼓は、中心的な役割を持つ人が重要であり、人を引っ張っていく精神が養われるのです。」と。

代表の孫でもある高校3年生の吉田尚平さんは、「お客さんに喜ばれるのが一番うれしいです。高校を卒業しても続けていきたい。」練習では、小太鼓で全体のリズムを合わせるリーダー的存在でした。

北浦童太鼓では、随時会員を募集しており、興味のある方は、土曜日の午後7時に、北浦庁舎分庁舎に来ていただきたいとのこと。

子どもたちがフリを交えながら力強く太鼓を叩く姿は、見ている人に感動を与えてくれます。今後の活躍に期待します。

ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます！

八木さん

(なめがた地域総合病院・リハビリテーション部)

病气や事故のため、身体に障害を負った方々に対し、今後生活していくために必要な機能の改善を図ったり、生活がしやすくなるように、指導や援助を行っていきます。少しでも役に立てるよう務めていきたいと思っておりますので、宜しくお願ひ致します。



編集後記

金魚すくい選手権大会小中学生の部で優勝した小学4年生から、金魚すくいのコツを教えていただきました。(保)

「白鳥の親子がいる！」という情報入手し、カメラを持って出かけました。(p13)『みにくいあひるの子』という童話がありますが、実際の白鳥の赤ちゃんはとても可愛かったです(友)